

編集後記

金沢大学50年史編纂委員長

橋本 哲哉

『金沢大学50年史 通史編』を、ここにようやく上梓することができた。刊行予定から大幅に遅滞し、同部局編刊行からも多くの時間を費やしてしまった。本書は、金沢大学創立50周年記念事業の一環として計画され、したがって金沢大学関係者のみならず、多数の卒業生、企業などの支援と期待を担って編纂されたものである。そうした方々に、まずもってお詫びを申し述べなければならない。

刊行の予定が遅れた事情のひとつは、執筆者の数が大変に多く、編集作業が思うに任せなかったことがあげられる。しかしながら、協力していただいた執筆者は各担当部分の最適格者を揃えており、結果として現段階における高水準の金沢大学史を世に送り出すことができたと思ふに自負している。編纂を統括した立場から、以下、本通史編の成果を3点取り出しておきたい。

まず第1に、すべての前身校の歴史を整理し、とくに第四高等学校に関しては新資料収集も含めて相当のエネルギーを割いて編集した。その結果、従来希薄であった前身各校の戦争への関わりを叙述できたし、また近年盛んになっている旧制高等学校研究の成果も反映させることができたと思ふ。第2には、金沢大学創立の過程を詳細に解明するため、明治以来の長い大学創設運動、敗戦直後からの学内外の意欲的な活動、石川軍政隊の動向などを紹介し、とくにアメリカで公開されたGHQ/SCAPのCAS関係資料を初めて本格的に利用した大学史となったといえよう。第3として、50年間の金沢大学史を叙述するに当たって、その国立大学としての役割、機能、特徴をなるべく具体的に書き留めた。その点は、教養教育をめぐる学内の議論と様々な改革、「大学紛争」と自主的な大学改革、大学財政の仕組みと財政分析、角間地域への総合移転決定過程と移転事業の推進、研究の高度化対応と大学院の拡充整備等のテーマで語られている。なお言うまでもないことだが、本通史編に書き込まれた分析・評価は金沢大学としての見解を述べたものではない。あえて付言すれば、編纂委員会の責任で執筆者に依頼して取りまとめられたものである。

もちろん、本書には至らなかった点も多い。例えば、叙述に重複する部分が散見されるし、表記の仕方に混乱も見られる。資料の取り扱いも不統一な箇所が残っている。また、誤植の訂正に万全を期すことができなかった。これらは編纂委員長としての私の力不足で、関係者に深く陳謝する次第である。

編集方針として、文責の明示をしないと確認してきたので、各章毎の総括担当者・執筆者の氏名を重複を厭わずに後掲し、感謝の気持ちにかえたい。また、部局編にはその名前を掲示したが、編集委員、編纂委員、橋本確文堂の皆さん方の長期間にわたる協力に対して、改めて御礼を申しあげる。なお、編集に手間どり橋本確文堂には迷惑をずいぶんかけて

しまい、心苦しく思っている。

ところで、現在の金沢大学は法人化に向けて努力を積み重ねている最中である。今その経緯を述べる余裕はないが、この『金沢大学50年史』の編纂を開始した当初、こうした事態は予測しえなかった。50年を一区切りとして、大学の歴史を編むことを目的として作業を開始したのだが、それが奇しくも国立大学としての区切りの仕事ともなってしまった。なにがしかの感慨は禁じ得ない。少なくとも編纂の仕事の後半は、国立大学としてのけじめをしっかりとつけようという気持ちを高めて作業に従事したつもりである。最後に、このような私情をわずかに挟さみ込んで、この後記を閉じさせていただきたい。

通史編執筆者一覧

- | | | |
|-----|--|---|
| 序章 | 総括担当：江森一郎
江森一郎 谷本宗生 | 澤田幹 寺井嘉治 橋本哲哉
日谷守 堀林巧 牧利子 |
| 第1章 | 総括担当：江森一郎
市川定三 上坂慎吾 上田望
江森一郎 大久保英哲 奥田晴樹
梶井重明 田仲一成 谷本宗生
戸松信康 久富木成大 森平嘉彦
山本勇麓 | 第7章 総括担当：酒井誠一
石田眞一郎 酒井誠一 辻彰
古川仍 前田達男 |
| 第2章 | 総括担当：江森一郎
石田眞一郎 上田外志夫 大久保英哲
佐藤保 佐藤秀紀 山本謙 | 第8章 総括担当：古畑徹
北原晴夫 小牧純爾 五味武臣
土屋純一 中西功夫 深川明子
古市大輔 古畑徹 |
| 第3章 | 総括担当：古畑徹
江森一郎 大久保英哲 木戸睦彦
竹村松男 田邊俊治 谷本宗生
鶴園裕 橋本哲哉 古畑徹 | 第9章 総括担当：古畑徹
浅野秀重 北原晴夫 木村茂和
清原岑夫 土屋純一 中村浩二
南相環 西谷公作 橋本哲哉
廣瀬幸雄 古畑徹 宮下孝晴
八重澤美知子 山崎光悦 |
| 第4章 | 総括担当：橋本哲哉
小島邦子 谷本宗生 鶴羽伸子
中島健二 中野節子 橋本哲哉
フラーシエム ロバート・G 弁納オー | 第10章 総括担当：酒井誠一
市村秀夫 酒井誠一 高畠参一郎 |
| 第5章 | 総括担当：橋本哲哉
江森一郎 笠井純一 小林昭
櫻井強 橋本哲哉 平瀬直樹
深谷松男 | 第11章 総括担当：橋本哲哉
海野八尋 江見準 坂村喜将
高澤裕一 高山俊昭 田邊宗一
橋本哲哉 深井一郎 渡邊力 |
| 第6章 | 総括担当：梅田康夫
飯田克平 梅田康夫 伍賀一道 | 年表 総括担当：橋本哲哉
松岡信一郎 |

金沢大学50年史 通史編

平成13年8月31日 発行

編 集 金沢大学50年史編纂委員会

事務局 金沢大学総務部総務課

〒920-1192 金沢市角間町
電話 076-264-5010

発 行 金沢大学創立50周年記念事業後援会

印刷 株式会社橋本確文堂
金沢市増泉4-10-10
